

# サンドブリック仕上げ 施工の手引き

適用品番

ジョリパットインフィニティー      JQ-500シリーズ

【初版】平成24年 4月

アイカ工業株式会社  
化成品カンパニー

< 使用材料 >

材料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-410	1液溶剤系 アクリルゴム系シーラー	15kg/缶	約 75 ~ 100 m <sup>2</sup>
	セーフシーラー JS-800	1液水系珪酸シーラー	16kg/缶	約 80 ~ 106 m <sup>2</sup>
主材 (目地・ 下塗り)	ジョリパットインフィニティ シリーズ 標準色 JQ-500T ( ...数字 ) 特注色 JQ-500 ( ...英字、 ...数字 )	アクリル共重合樹脂 水性仕上げ塗材	20kg/ 缶	約 22 m <sup>2</sup> (目地、下塗り)
主材 (上塗り)	ジョリパットインフィニティ シリーズ 標準色 JQ-500T ( ...数字 ) 特注色 JQ-500 ( ...英字、 ...数字 )	アクリル共重合樹脂 水性仕上げ塗材	20kg/ 缶	約 8 m <sup>2</sup> (上塗り)
骨材	JF-3	寒水石(白竜) 3 厘	20kg/袋入り	約 13 m <sup>2</sup>
目地棒	JR-70P5M1 JR-70P7M1 JR-70P10M1	5mm幅 × 1m 7mm幅 × 1m 10mm幅 × 1m	200本/箱 200本/箱 200本/箱	200m分 200m分 200m分

**目地色を確認して下さい。**

主材は目地色とパターン色の両方を発注して下さい。

目地にパターン色と同色のジョリパットを使用する場合は、目地塗り、仕上げ塗り込みで約 6 m<sup>2</sup>/缶です。

セーフシーラー JS-800 は 2kg × 2 個セットもございます。使用する面積によってはこちらをご使用いただくことを推奨致します。(施工面積目安：約 20 ~ 25 m<sup>2</sup>/セット)

使用する下地に適合したシーラーをご使用下さい。詳しくは各シーラーの説明書または最寄のアイカ工業(株)各支店にお問い合わせ下さい。

< 主な施工道具 >

- ・金ゴテ(ステンレス製)
- ・剣先ゴテ(ステンレス製)
- ・ダスター刷毛又は左官刷毛
- ・ゴムローラー(目地棒の密着が悪い場合に使用)

< 下地調整 >

モルタル金ゴテ押さえ(平滑)など

<サンドブリック仕上げ施工方法>

1. シーラー塗布

・JS-410の場合

配 合	J S - 4 1 0	1 5 k g
塗 布 量	0 . 1 5 ~ 0 . 2 k g / m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

・JS-800の場合

配 合	J S - 8 0 0	1 6 k g
塗 布 量	0 . 1 5 ~ 0 . 2 k g / m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。  
3時間以上48時間以内

2. 主材(目地色)塗布

・JQ-500シリーズ目地色を無希釈で0.9kg/m<sup>2</sup>となるよう金ゴテ(ステンレス製)にて全面に平滑に塗布してください。(凹凸が激しいと目地棒が付着しにくくなる為、塗装は不可)

夏期 4時間以上  
冬期 12時間以上  
乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 墨出し

・目地棒を貼る為の基準線をつけてください。

4. 目地棒貼り

・目地棒の白色離型紙を剥がし、基準線に沿ってしっかりと押しつけて、目地棒を貼りつけてください。  
(剥がれやすい場合は、ゴムローラー等で押さえると剥がれにくくなります。)

目地棒貼り付け後

5. 主材パターン付け

配 合	J Q - 5 0 0 シリーズ	2 0 k g
	寒水石 3厘	1 2 k g
	清 水	0 ~ 0 . 5 ㎖
塗 布 量	約 4 . 0 k g / m <sup>2</sup>	
施工道具	剣先ゴテ(ステンレス製) 金ゴテにて、砂岩模様を出して下さい。 (図-1)	

追いかけ

6. 刷毛引き

- ・ダスター刷毛（又は左官刷毛）を水で濡らし、パターン付けした線（段差模様）と平行になるよう刷毛を寝かせて表面を軽く削る用に刷毛引きしてください。  
この時、強く削り過ぎるとパターンが消えてしまう為、注意。（図-2）

5分以内（表面が皮ばりする前に）

7. 離型紙除去

- ・JQ-500シリーズが乾燥しないうちに、青い離型紙を剥がしてください。  
（目地部分の角でバリがでないようにする為）

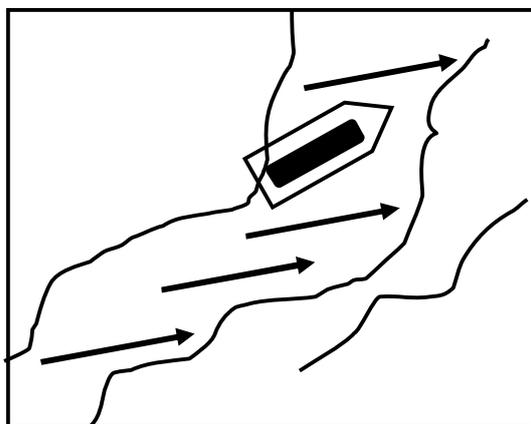
24時間後

8. 目地棒除去

- ・白い目地棒を除去してください。  
目地棒撤去は乾燥後に行うようにしてください。

<施工のポイント>

- ・ 剣先ゴテのエッジをきかせ、コテを斜めに抜くようにして段差をつけてください。
- ・ 隣りどおしの砂岩調の模様が同じにならないよう注意して施工してください。



コテでつくった段差の線を重ね  
合わせて、長い1本の線をつくる。

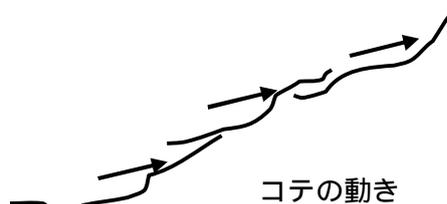
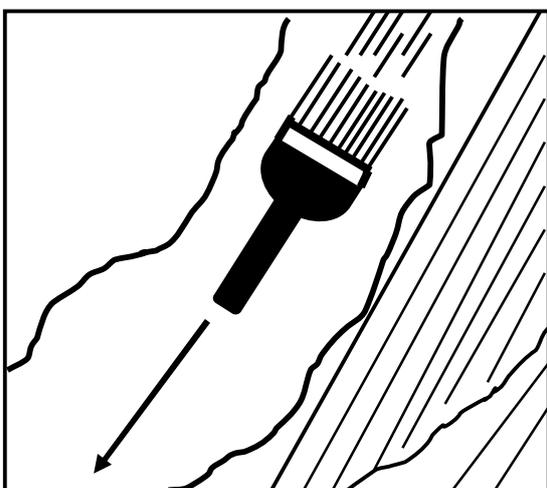
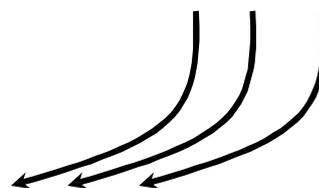


図 - 1

追っかけ (ジヨリパットが皮張りする前に)



- ・ 刷毛は、枠に対して真直ぐ動かしてください。  
決して、蛇行させないでください。
- ・ ダスター刷毛をあまり水につけすぎると  
パターンがぼけます。



x

図 - 2

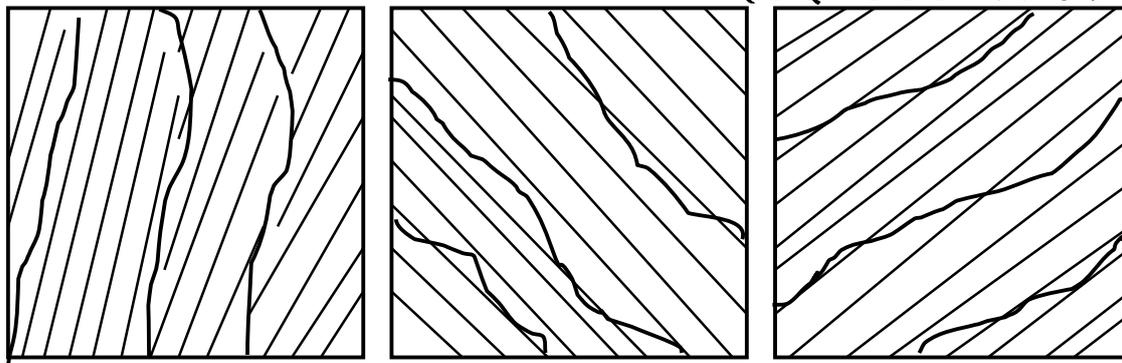


図 - 3

- ・刷毛を直線で動かした方が、石を切ったように見え、砂岩らしい仕上がりになります。又、隣りどおしのパターンが同じにならないよう基本的には、図 - 3 の3パターンを組み合わせるとバランスの良い仕上がりになります。

#### < 施工の注意事項 >

- ・コテはステンレス製のものを使用し、施工してください。  
鉄製の金ゴテを使用した場合、鉄錆の転写、削れた鉄粉の転写で塗膜が変色して見える(グレー色)恐れがあります。
- ・目地無しで大面積を仕上げることは困難です。
- ・施工前に必ずコンパネ等で試し塗りを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。  
(特に外装の大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・目地棒が剥がれやすい場合には、ゴムローラー等で押さえて下さい。
- ・塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進めてください。
- ・シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮下さい。
- ・シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。
- ・施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗浄水の、河川や側溝への廃棄は避けてください。
- ・気温 5 以下、湿度 80%以上、降雨、結露、強風などの条件下での施工は、硬化不良、ひび

JQ500 - 24 - 01  
(JQ - 500 サンドブリック)

割れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。

- ・商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

以 上